

# 山本県政 3年目の 実績と成果





## 前2年間の振り返り

## 1 年目の振り返り

- ◆ 中期財政見通しの作成・公表
- ◆ 行政改革（官民連携、市町村との対話、DX推進、県有施設のあり方見直し）
- ◆ 県庁32階に情報発信拠点「tsulunos」開設（動画本数 4,422本、再生回数 約1,100万回）  
〈2022.7.25時点〉
- ◆ 「G-アナライズ&PR」で、群馬産品のブランド強化（やよいひめ・豚肉）
- ◆ 「教育イノベーション・プロジェクト」開始
- ◆ 「ぐんま5つのゼロ」を宣言
- ◆ 県と市町村とによる「多文化共生・共創県ぐんま」共同宣言
- ◆ ふるさと回帰支援センターに全市町村が加入
- ◆ 新型コロナウイルス対策（経営支援、医療体制・情報発信体制構築）
- ◆ 若手医師を呼び込む「ドクターズカムホームプロジェクト」始動

## 2年目の振り返り

- ◆ 新・群馬県総合計画「ビジョン」「基本計画」策定
- ◆ 県立高校の1人1台PCの整備完了（全国41位から、トップ6県の一つに躍進）
- ◆ 公立小中学校の全学年を35人以下（小1・2は30人以下）学級に（先進的9県の一つ）
- ◆ 新型コロナワクチン接種（全国初の大規模接種センター、LINE予約システム）
- ◆ 「インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例」制定（全国初）
- ◆ 官民共創スペース「NETSUGEN」開設（総登録会員数 2,382人）〈2022.7.27時点〉
- ◆ ぐんま健康ポイント制度 県公式アプリ「G-WALK+」本格稼働（登録者数3万人超）  
〈2022.7.27時点〉
- ◆ 豚熱ワクチン知事認定獣医師制度の導入（全国初）
- ◆ 19歳以下を対象にした「UI9eスポーツ選手権」開催（全国初）
- ◆ 地域課題解決型学習プログラム「始動人Jr.キャンプ」実施



新・群馬県総合計画  
7つの柱ごとの3年目の主な実績と成果

1. 行政と教育のDXの推進
2. 災害レジリエンスNo.1の実現
3. 医療提供体制の強化
4. 県民総活躍社会の実現
5. 地域経済循環の形成
6. 官民共創コミュニティの育成
7. 教育イノベーションの推進と「始動人」の活躍
8. 県政全般を支える取組

※各実績の柱の区分は記者会見用にとりまとめたものです

# 1. 行政と教育のDXの推進

## ◆ぐんまワクチン手帳

全国初の導入

LINEを活用

登録者数35万人超

※2022年6月現在

スマホで接種記録を表示  
(接種済証の持ち歩き不要)

需要喚起策に活用

経済活動の再開へ



## ◆デジタルぐーちょきパスポート



# 1. 行政と教育のDXの推進

◆ テレワーク情報サイト「GUNMA×TELEWORK」開設



◆ 県内バス事業者7社が運行する  
64路線で地域連携 IC カード  
「nolbé (ノルベ)」利用開始





## 2. 災害レジリエンスNo.1の実現

### ◆ 「危機管理センターオペレーションルーム」整備



## 2. 災害レジリエンスNo.1の実現

### ◆ 公共事業

- ・安定的・持続的な事業実施
- ・地域の防災対策
- ・基幹道路を着実に整備



烏川堤防整備



孺恋橋現場視察



西毛広域幹線道路(高崎西工区)の一部区間が開通



### 3. 医療提供体制の強化 新型コロナ対策

- ◆ 入院患者受入確保病床数  
470床 (R3.7月時点)  
→ 642床 (R4.7.1時点)

- ◆ ワクチン接種の加速化を図るため、  
**東毛・県央ワクチン接種センター**  
を開設

昨年の設置以降、6月25日の運営終了までに

約 103万回を接種  
(東毛約28万回、県央約75万回)



### 3. 医療提供体制の強化

新型コロナ対策

◆ 若年層向けSNSを使った、ワクチンに関する正しい知識の普及啓発

◆ 新型コロナワクチン  
「追加接種促進プロジェクト」

3月17日から5月31日までの期間で  
約15万3千人が応募

#### 特典の一例



温泉旅館宿泊補助券

協賛：7地区の観光協会等



ダイバーズウォッチ

協賛：(株) SUBARU



回生電動自転車

協賛：太陽誘電(株)

### 3. 医療提供体制の強化

- ◆ 医師臨床研修マッチング数が112名  
2年連続**過去最高**を更新



- ◆ 県立4病院の令和3年度決算が**すべて黒字**に(開設以来**初**)
- ◆ 県立病院の未来を考える有識者会議を計6回開催し、報告書を取りまとめ



## 4. 県民総活躍社会の実現

◆「2021移住希望地ランキング」  
において、過去最高の5位

群馬県 **過去最高第5位**

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
14位	14位	15位	10位	<b>5位</b>

目標  
3位以内

- ◆ コロナ禍における地方移住への関心の高まり
- ◆ オールぐんまで移住を推進  
(県内全市町村がNPO法人ふるさと回帰支援センター会員)
- ◆ オンラインイベントで情報発信

◆ eスポーツ活動支援



高齢者向けイベント開催支援 特別支援学校での活動支援

◆ MaaS ぐんま共創モビリティ社会推進事業  
(デジタル田園都市国家構想推進交付金採択)



# 4. 県民総活躍社会の実現

◆ 女性の様々な悩みやつらさに寄り添い支えるため  
**寄り添い相談支援事業** 開始

**ぐんま・ほほえみネット**  
 つらいと思っていること、不安なこと  
 あなたと一緒に考える人がいます。

**Next Generation**  
 020-3196-4973  
 北毛地域

**キッズレイ**  
 0277-46-5977  
 西毛地域

**Anriaka**  
 ひだまりマルシェ  
 027-384-3131  
 東毛地域

**すてっくぐんま**  
 090-2706-9991  
 中央地域

◆ 適切な相談先をオンラインで案内する  
**「悩み相談窓口」** 開始

LINEを活用

群馬県デジタル窓口

選択

家族の悩み（高齢者の介護、子育て）

以下の選択肢から当てはまるものを選択してください。

選択

子育ての悩み

【子どもホットライン24】  
 児童虐待、子育て相談、心身のケア

新型コロナウイルス ワクチン接種予約

子育ての悩み

悩み相談窓口



## 4. 県民総活躍社会の実現

- ◆ **都道府県初**となる、生理用ナプキン無料提供サービス「OiTr(オイテル)」を県有施設に導入



■昭和庁舎 1階女子トイレ

### 群馬県庁

- ◆ 部長職 13名中、5名が女性  
人数、割合(38.5%)とも  
**2年連続全国一**
- ◆ 女性管理監督職の増  
(241人→262人)を更新
- ◆ 児童福祉司、児童心理司を**増員**し  
児童虐待対応を強化

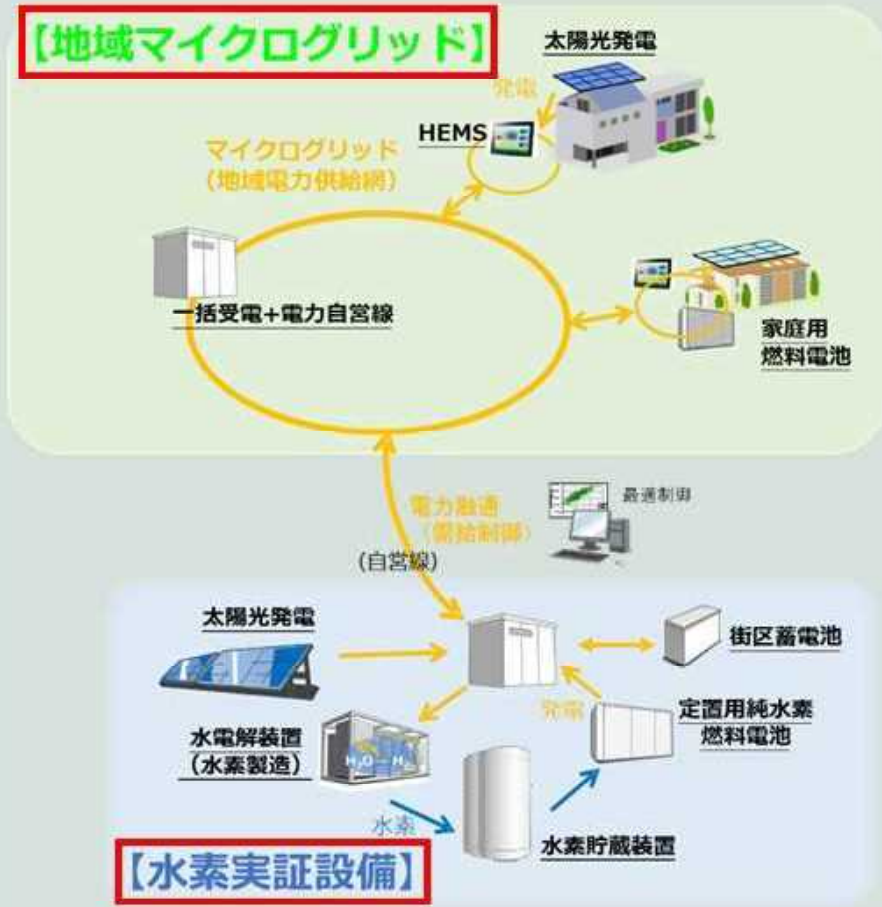
# 5. 地域経済循環の形成

環境

◆ 板倉ニュータウンにおいて、  
再エネ電力の地産地消の実現と  
災害レジリエンスを高めた  
住宅団地を整備することを発表

◆ 「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例  
を公布

- 2050に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」**
- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
  - 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
  - 宣言3 災害時の停電 「ゼロ」
  - 宣言4 プラスチックごみ 「ゼロ」
  - 宣言5 食品ロス 「ゼロ」



# 5. 地域経済循環の形成

環境

◆ 令和4年度組織改正  
「グリーンイノベーション推進監」を新設し  
グリーンイノベーション推進課と、再生可能エネルギー推進室を設置

◆ 発生・被害情報を簡単に投稿できる  
「ぐんまクビアカネット」運用開始



◆ 赤城ウェルグラウンド  
構想パブリックコメント実施



## 5. 地域経済循環の形成

農業

### ◆ 豚熱に対する抜本的な対策を発表

抜本的な対策 3つの柱

- 1 野生イノシシ対策
- 2 飼養衛生管理
- 3 子豚へのワクチン接種



■ 金子農林水産大臣に要望

◆ 令和3年の農畜産物等の  
輸出金額が前年を約27%上回る  
14億900万円で**過去最高**

◆ 農業経営の向上に取り組む  
「担い手経営体数」が  
過去10年で**最多**を記録

## 5. 地域経済循環の形成

農業

- ◆ G-アナライズ&PRチーム  
による健康に関与する成分の科学的な分析

群馬県の育成品種として初

上州地鶏 (ムネ肉) が  
機能性表示食品 になりました!

機能性関与成分: イミダゾールジペプチド

一時的な 疲労感を軽減!



- ◆ 健康志向宿泊プラン  
「上州地鶏×温泉」販売



# 5. 地域経済循環の形成

◆「ストップコロナ!対策認定制度」  
認定件数が10,000件を突破



◆ G7関係閣僚会合誘致へ  
群馬県として**初**の立候補



## 5. 地域経済循環の形成

- ◆ 古民家再生・活用の官民共創プラットフォーム「コミンカコナイカ」事業

R3年度政策プレゼン提案テーマ事業化

- ◆ 29歳以下新規若者就労者 **全国2位**  
5年間(2015年→2020年)で増加率 2.9倍

- ◆ 林業の低コスト化に向けて、タワーヤードを用いた作業システムの実証事業を始動(2022年6月)

